

## 2 蒜山の火山灰層（真庭市蒜山 昭和化学工業(株)

写真



解説

約50万年前から蒜山盆地に形成されていた湖は、約10万年前に南東部が決壊し、古蒜山湖の水は現在の旭川の流れとなって南流するようになった。その後周囲から土砂が流れ込んでやがて平坦な盆地へと変わっていった。近隣では大山や烏ヶ山の火山活動が約2万年前まで続いて蒜山盆地にはこれらの火山噴出物が堆積していったが、その最中の約2万9千年前に九州南部で巨大噴火が起こり広域テフラであるAT火山灰層を蒜山盆地にも堆積させた。

提供者 氏名 能美 洋介 所属 岡山理科大学